

**(入院・外来) 化学療法治療計画書**

発行日 年 月 日

〈治療レジメン名〉

**パドセブ単独療法**

変更 (① / 、② / )

薬剤	投与量	投与方法	投与スケジュール
パドセブ(エンホルツマブ ヘドチン)	1.25mg/kg	点滴静注	Day 1、8、15

外来 科 主治医

患者名 様 ID:

生年月日:(M・T・S・H) 年 月 日( 歳) 性別: 男性・女性

身長 cm 体重 kg 体表面積 m<sup>2</sup> 病名

No.	予定時刻	ルート	用法	薬剤名(規格量)	指示量	施行量	所要時間
	:	主管	点滴	生理食塩液	50mL	1 B	ルート確保
ア	:			生理食塩液	50mL	1 B	30分
				デキサート注	6.6mg	1 V	
イ	:	主管	点滴	生理食塩液	50mL	1 B	【調製注意】 30分
				注射用水	20mL	mL	
				パドセブ注	1.25mg/kg	mg	30分
ウ	:	主管	点滴	生理食塩液	50mL	1 B	30分
	:	主管	点滴	生理食塩液 (ルート確保に用いた残り)			分

〈治療開始日〉 年 月 日

〈変更開始日〉① 年 月 日 〈変更開始日〉② 年 月 日

〈投与スケジュール〉 28日(4週)で1クール

Day	1	8	15	22
パドセブ	↓	↓	↓	休薬

**【注意事項】(同一レジメンを使用する患者全員に対して)**

例) バイタルをとるタイミング・回数、血管外漏出時の対応 (Dr. コール前にする事)

・インフュージョンリアクションが生じた場合、次回以降にレスタミンコウ錠10mg 5Tをパドセブ注投与30分前に内服処方すること。

・皮膚症状の発現予防として、白色ワセリンの処方を検討すること。

・全身性の皮膚症状発現の場合は、可能なら皮膚科へコンサルトし、ステロイド外用剤の処方を行うこと。

・副作用等における減量は以下の通りである。

	一段階減量	二段階減量
投与量	1.0mg/kg	0.75mg/kg

・本剤は、プラチナ製剤を含んだ化学療法、及びPD-1/PD-L1阻害薬による治療歴のある患者へ投与可能である。

**【患者個別対応】(患者個人での注意事項)**

例) アレルギー、終了後の安静など